



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第320号 (2019年4月)



温かい風、次々に咲く花、もうすっかり春です。この学年も残り数日となりましたが、皆さん、満足していますか。今年度は佐賀工業高校の120周年を祝う年でもありました。佐賀工業高校に入学し先輩方から手渡された歴史と伝統を、一人一人が毎日一生懸命学び、向上を目指す姿勢によって後輩へと伝えていきましょう。

さあ、春のスタートは目前です。新たな気持ちでスタートラインに立ちましょう！

卒業式

3月1日(金)は卒業証書授与式が行われました。副島政史校長先生は式辞で、慶事の象徴である松竹梅を用いて「松のように海辺の防風林となって大切な人を守り、竹のようにまっすぐとしなやかに育ち、極寒の中、梅が百花に先駆けて咲くように苦しいときも笑顔を絶やさず、ひたむきに努力を重ねて欲しい」とはなむけの言葉を述べられました。また教育後援会会長の武藤祐子氏からはご祝辞で、「困ったときには周りの人に頼り、人が困っていたら助け、人に頼られる人になってください」と激励の言葉をいただきました。在校生代表の送辞は生徒会長の江口真治君、そして「3年間は長いようで短いです。一人ひとりにとって最高の青春を送ってください」と、卒業生代表の定時制機械科4年の糸山晃輔さんが答辞で在校生へ最後のことを贈りました。ほとんどの人は学校生活を終え、いよいよ社会人として働き始めます。式の最後の校歌斉唱は卒業生の万感の思いのこもった素晴らしい歌声でした。



ご退職なさる先生方

この3月で定年退職なさるのは、電気科の萩原秀樹先生、電子情報科の幟持佳明先生、建築科の森哲郎先生です。先生方、長い間大変お疲れさまでした。そしてお世話になりました。



萩原秀樹先生
(電気科)

生徒や保護者の皆さま、そして先輩や同僚の方々の支援によりまして36年間の教職を終えることができました。とりわけ母校である本校で最後の5年間クラス担任として生徒との関わりが持てたことは教師として幸いでした。120年という伝統と実績のある佐賀工業高校の更なる発展を祈念します。



幟持佳明先生
(電子情報科)

佐賀工業高校では、無線等の資格取得、ものづくりなどを通して元気で真面目な生徒達と切磋琢磨しながら、計8年間お世話になりました。私を教師に導いた電子技術を、無線設備のある学科で教えることができ、さらに定年をこのすばらしい学校で迎えられ、全ての生徒、保護者、先生方にとっても感謝しています。佐賀工業高校のさらなる発展を祈っております。



森哲郎先生
(建築科)

佐賀工業高校には29歳から9年間と還暦までの2年間お世話になりました。生徒たちのおかげで年をとっても元気でいられました。日本は『気』の文化を持っています。正式な礼儀作法や正しい姿勢がものすごく気を高めると聞いています。皆さんの持っている気を最大限に活用してください。最後に一言『佐賀工業高校バンザイ！』

韓国の亀尾(グミ)電子工業高校、佐工を訪問



2月15日(金)は、韓国の国立亀尾電子工業高校から電子科、エレクトロニクス科の2年生68名の訪問団をお迎えしました。亀尾は韓国内陸部にある町です。韓国全土から電子工業を学びたい生徒が集まってくるこの高校は1クラス20人という少人数、また全寮制で1部屋4人の生活をしているそうです。歓迎式では副島政史校長先生と生徒会長の江口真治君が

韓国語で歓迎の挨拶をしました。亀尾電子工業高校からはナン・ピョンシ副校長先生と生徒代表のパン・インソン君の挨拶がありました。エレクトロニクスを専攻しているパン君は、韓国での学校生活や趣味のボディビルのこと、そして「亀尾電子工業高校を世界最高の学校にしたい」という高い志を語ってくれました。

生徒諸君に今回の訪問の感想を尋ねると、ロ々に「ヤスカワファクトリーの見学が興味深かった」「スシがおいしい」「別府温泉がとってもいい」「浴衣を着て嬉しかった」「昼がいい」などの声を聞かせてくれました。「ここに来るのが一番楽しみだった」という嬉しいひと言も。「和食はいかがですか?」と聞いたところ、「so so(まあまあ)」という本音もとびだし、仲間から「そんなこと言うなよ」と言われている様子で、あわてて「デリシャス!」と言い直す場面もありました。若者の快活なやりとりは韓国も日本も変わりませんね。



国際交流報告会

今年度も様々な国際交流の活動が行われましたが、そのうちフィジー共和国の高校とのラグビー交流(4月)、ベトナムへの海外インターンシップ(10月)、韓国の順天工業高校訪問(12月)についての交流報告会が3月15日(金)に行われました。



●フィジー・ラトウ・カダヴレヴスクール交流事業

発表者 ラグビーフットボール部主将 石川空悟君(電気科2-2)

副主将 三良照三郎君(電子情報科2-1)

●平成30年度 未来のスペシャリスト海外研修 ～ベトナム研修～

発表者 小原実花さん(建築科2年)、西坂翔君(電子情報科2-2)

●平成30年度 世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業

～順天工業高校訪問～

発表者 中村文哉君、津山晃旗君、仁位圭徳君、野口菜都さん、光安望未さん、松尾拓朗君、太田あゆみさん

行事に参加した皆さんは異文化交流の楽しさを味わいました。違いを知って驚き、共通点を見つけて喜ぶ。ほほえみを交わすだけでも嬉しく、言葉が通じればなお面白い。今まで関心のなかった外国のことに興味が湧き、その国のニュースを開いては知り合った友のことを思い出す。「英語の勉強をがんばるぞ」と心に火が付くかもしれないし、外国を旅してみたくなるかもしれません。さあ、友達の発表を聞いて「自分も体験したい」と思った人は、ぜひ次の機会に手を挙げてください。



進路ガイダンス

キャリア教育の一環として、3月19日（火）には県内企業31社と大学4校、専門学校4校をお招きして、1・2年生とその保護者を対象として進路ガイダンスが行われました。

1時間目に、2月に進路指導部を中心とする先生方が訪問された企業についての報告を全員で聞いた後、就職コースと進学コースとに分かれ、就職希望者は説明を聞きたい6社の企業紹介を聞き、進学希望者は進学についての講座と大学・専門学校の模擬授業を受け、設けられた8校のブースをまわって個別に質問したり、説明を受けたりしました。2年生ははいよいよ真剣に考える時がきました。今後の進路選択に役立ててください。



「生徒を幸せにしたい」原田堅一先生



原田堅一。高校2年の夏には「ラーメン屋になる」と公言していた。その後は一転、教師を目指し、高校在学中から本を友に加えて思索を深め、深みのある素敵な青年へと成長した。そして今……

集会のたびにおもしろくて為になる話をしてくださる生徒指導部の原田先生は、柔道部の顧問であり、保健体育科の先生です。『動物シリーズ』とご自身でおっしゃっているように、このところ動物を題材にした興味深いお話をしてくださっています。それぞれのお話にはいろいろ考えさせられ、深く胸に残ります。原田先生にインタビューしました。



本を読むようになったきっかけは？——白帯で始めた高校での柔道がどんどん強くなり全国大会や国体で優勝を重ねたことです。もっと強くなりたいと思いました。自分にはないものを求めて読み、自分で自分の成長を感じることにうきうきわくわくしていました。今はそれを生徒に還元したいと思っています。幸せは学歴でもお金でもありません。いつも心が穏やかで、うきうきわくわくする、これが幸せだと考えていますが、生徒を幸せにしたいんです。

どんな本を読みますか？——若い頃はスポーツ選手の本、戦国武将の本など。上り詰めた人たちの考えを吸収したかった。今は経営者の書いた本をたくさん読んでいます。会社経営とはとても厳しい闘いです。その厳しさの中で生きている人から学びたい、そして感動したいんです。知識が欲しいのではありません。感動です。感動はエネルギーになりますから。

どんなときに読みますか？——いつでも。身近なところにいつも持っています。（机の上には5、6冊の本が重ねられ、今朝買ったばかりの本も2冊。カバンの中にも1冊。）

たくさん購入されるのですね。——月に1度福岡の紀伊國屋書店に行き、読みたい本を片っ端からカートに入れます。貸したい本、プレゼントしたい本は5冊くらい買います。

最近読んでいる本は？——脳に関心があっているいろいろ読んでいます。今読んでいるのは友田明美の『子どもの脳を傷つける親たち』です。



『動物シリーズ』のおさらい……12月21日の終業式では、V字になって飛ぶ雁の渡りのお話でした。もっとも強い風の抵抗を受ける群れの先頭は次々と交替。群れについて行けなくなった鳥には仲間が付き添い、そして回復を待って次の群れに加わって旅をする。驚嘆しました。1月8日の始業式では鷲の寿命のお話。35年という鳥としてはたいへん長い寿命をもつ鳥の王者も老いるにしたがって嘴（くちばし）や爪が弱ってきます。そのとき鷲は高い山の上で自らの羽根をむしり、爪を剥ぎ、岩で嘴をへし折ります。全く無防備な状態です。しかし寒くて空腹で弱い状況に耐えていると徐々に新たな羽根が、爪が、嘴が再生される。この苦難の時を乗り越えた鷲には、新たな35年の寿命が与えられるのです。再び、驚嘆。3月4日の全校集会はゾウのお話でした。サーカスのゾウは子どものときに重い鉛の鎖をつけられる。大きく成長し力が強くなっても、自由に動けないと思い込まされたゾウは逃げようともしない。



表彰

キ：機械科、テ：電気科、シ：電子情報科、ケ：建築科

- ◆ 平成30年度佐賀県高等学校新人ラグビーフットボール大会 男子団体 優勝
- ◆ 平成30年度九州ラグビーフットボール大会 男子団体 準優勝
- ◆ 佐賀県スポーツ賞 優秀賞
 優秀賞 陸上競技 百田 仁成 (シ2-1・有田中)
 優秀賞 柔道競技 近藤 隼斗 (キ2-2・有田中)
 優秀賞 佐賀工業高校ラグビーフットボール部
- 平成30年度佐賀県高等学校新人体育大会
 ◆ バレーボール競技 第3位
- ◆ 第41回佐賀県高等学校選手権柔道大会
 女子団体 第1位
 男子団体 第2位
- 平成30年度佐賀県高等学校新人体育大会(つづき)
 ◆ 第41回佐賀県高等学校選手権柔道大会
 女子個人 (階級省略) 第2位 古賀 真里菜 (ケ2・城北中)
 第1位 庄野 文香 (シ1-1・昭栄中)
 第1位 牧山 雅 (シ1-2・有田中)
 第3位 大石 凜 (ケ1・大和中)
 第1位 吉本 萌乃 (ケ1・基山中)
- 男子個人 無差別級 第1位 大島 進之助 (キ2-1・鹿島西部中)
 無差別級 第2位 山田 優吾 (キ1-2・芦刈中)
 81kg級 第3位 古川 義通 (キ2-1・大和中)
 73kg級 第1位 中村 絢 (キ1-1・三日月中)
 73kg級 第3位 西城 智弥 (シ2-1・多久東部中)
 66kg級 第2位 江上 宗志 (キ2-2・三日月中)
 66kg級 第3位 辻 勇貴 (キ1-2・芦刈中)
 60kg級 第1位 近藤 隼斗 (キ2-2・有田中)
 60kg級 第2位 宮崎 琳太郎 (キ2-1・昭栄中)

4 月 行 事 予 定

日 曜	行事予定	日 曜	行事予定
1 月		16 火	教育相談週間 図書館オリエンテーション
2 火		レントゲン撮影 (1年) 	
3 水		17 水	内科検診
4 木		18 木	検尿1次 教育後援会第1回役員会
5 金		19 金	↓
6 土		20 土	
7 日		21 日	
8 月	始業式 新任式	22 月	
9 火	服装頭髪検査 自転車点検 (2、3年) 課題テスト (2、3年)	23 火	
10 水	入学式 (2、3年生 自宅学習)	24 水	1年生宿泊研修 (北山少年自然の家)
11 木	対面式、課題テスト (全学年) 心臓検診 (1年、2・3年対象者)	25 木	
12 金	身体測定 新入生オリエンテーション 部活動紹介 クラス役員任命式	26 金	教育後援会第1回評議員会 
13 土		27 土	
14 日		28 日	
15 月	教育相談週間 図書館オリエンテーション	29 月	昭和の日
		30 火	↓ 国民の祝日

お知らせ 教育後援会総会は5月11日(土)です。当日は授業参観も行われます。
 どうぞふるってご参加ください。

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<http://cms.saga-ed.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記

旅の楽しみはいろいろありますが、究極の楽しみは人でした。ホテルで働く青年、列車で隣に座ったビジネスマン。毎朝通る店のウィンドウの向こうからにっこりほほえみかけてくれる店主。行きつけになった屋台の主。思い出に残っているのは人を巡ることばかり。食べ物よりも！ホントです。 K